

# ◆ 令和2年度事業報告書 ◆

## ◇◆ 目次 ◆◇

### 介護老人福祉施設

#### 目的・方針 事業実施計画

- |    |            |   |
|----|------------|---|
| 1. | 円滑な運営に向けて  | 1 |
| 2. | 職員の資質向上    |   |
| 3. | 利用者に関して    | 2 |
| 4. | 事故について     | 3 |
| 5. | 苦情処理       |   |
| 6. | 介護報酬       | 4 |
| 7. | 行事について     |   |
| 8. | 令和2年度の取り組み |   |

社会福祉法人 はばたきの里

特別養護老人ホーム 第三いこいの園

〒733-0815 広島市西区己斐上六丁目 939-1

TEL (082) 275-0066

FAX (082) 275-0093

## 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム 第三いこいの園

### 目的・方針

利用者が要介護状態になった場合においても、その利用者が可能な限り施設においてその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行う事により、社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とした。

### 1. 円滑な運営に向けて

- 令和2年度入所待機者は男性19名、女性37名、合計56名（前年66名）となっている。
- はばたきの里入所検討委員会規定に基づき、入所の必要性の高い申込者が優先的・緊急的に入所出来るよう基準を明示することにより入所決定過程の透明性・公平性を確保すると共に施設入所の円滑な事業運営を行うようにした。
- 入所判定指針に基づき入所決定過程の透明性・公平性を確保すると共に必要性が高い申込者が優先的・緊急的に入所できるようにした。

### 2. 職員の資質向上

- 年間の研修計画を決め、処遇の統一・職員の意識の向上に努めた。
- 感染症対策委員会や各種会議にて、感染症についての予防と対応について周知徹底を行った。また、不明な点については行政に確認し対応した。
- 介護職員に対する処遇改善を図り、介護職員の職場定着とキャリアアップに努めた。

### 研修会への参加

#### 外部研修

月 日	研 修 名 (参加職種)	月 日	研 修 名 (参加職種)
10/28	広島市高齢者虐待防止研修 (介護士)	3/10	広島市集団指導研修 (施設長)
2/1	災害時のリスクマネジメント (施設長)	3/22	介護報酬改定に係る研修会 (施設長)
2/2	介護事故等のリスクマネジメント (介護士)	—	—

#### 内部研修

月 日	研 修 名 (参加職種)	月 日	研 修 名 (参加職種)
8/20	虐待・身体拘束 (介護士、看護師、相談員、他)	12/16	感染症研修 (介護士、相談員、他)
8/20	事故防止研修 (介護士、看護師、相談員、他)	12/20	感染症研修 (介護士、看護師、相談員、他)
9/18	感染症研修 (介護士、看護師)	1/19	職場環境、事故防止研修 (介護士、看護師、他)
10/9	虐待・身体拘束 (介護士、看護師、相談員、他)	3/26	身体拘束 (介護士、看護師、相談員、他)
11/18	虐待・感染症研修 (介護士、看護師、他)	—	—

## 介護士会議

会議にて個別処遇や感染症、事故防止、虐待等に関しての内容を検討し周知した。  
新型コロナウイルスの感染拡大時期や悪天候時には会議を中止し、職員の感染防止や安全確保に努めた。

## 3. 利用者に関して

- ・ 利用者の心身の状況を把握し、利用者個別の情報や介護要点を介護士全員が共有し、統一したサービスが行えるよう努めた。
- ・ 感染症予防のため、手洗い・消毒を徹底した。また、手すり等の消毒も行い感染予防に努めた。また、発熱などの異常時には看護師・医師に報告し指示を仰ぎ、必要に応じて隔離などの対応を行った。

## 利用状況

月	日数	延日数	特養		空床短期		合計	R2 年度 利用率	R1 年度 利用率
			入所者数	利用 延日数	利用者数	利用 延日数	利用 延日数		
4月	30	900	28	817	1	30	847	94.1%	79.7%
5月	31	930	27	826	1	31	857	92.2%	74.7%
6月	30	900	26	780	1	30	810	90.0%	89.4%
7月	31	930	26	789	2	39	828	89.0%	92.4%
8月	31	930	26	780	2	62	842	90.5%	88.8%
9月	30	900	26	779	2	54	833	92.6%	90.4%
10月	31	930	26	805	2	62	867	93.2%	82.8%
11月	30	900	26	745	2	59	804	89.3%	77.8%
12月	31	930	26	793	2	60	853	91.7%	88.9%
1月	31	930	27	803	1	30	833	89.6%	83.8%
2月	28	840	26	697	1	28	725	86.3%	90.2%
3月	31	930	25	771	1	31	802	86.2%	91.0%
合計	365	10950	315	9385	18	516	9901	90.4%	85.8%

## 入所者・退所者

令和2年度は入所者5名、退所者5名であった。退所の主な理由は医療的処置が必要となり退所に至っている。入所者の要介護度が上がり重度化しているため、生活全般に一部介助から全介助が必要な方が増えている。

## 入院者

令和2年度中の入院者は延べ16名であり、前年と比較すると約半数減っている。半数以上が肺炎、誤嚥性肺炎、尿路感染症等での入院であった。

入所者介護度分布（28名） 令和3年度3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
男性	0	0	0	2	0	4.00
女性	2	2	5	6	11	3.84
合計	2	2	5	8	11	3.85

#### 4. 事故について

- ・ 常に利用者の状態変化に注意し、必要があれば家族・医療機関に相談し適切な対策を取るよう努めた。
- ・ アザ・内出血、転倒の事故件数が多い、特にアザや内出血については発生した場所等が不明な事故が多く、特に自ら動かれる利用者の上下肢にアザ等が見られた。

#### ○広島市事故報告… 4 件

##### 主な事故内容

月	件数	状況	対応	家族報告	広島市報告
11月	1件	夕食後、居室誘導のため、エレベーター内へ本人（車椅子）を誘導する。他利用者も同様に誘導を行っていたところで、本人が車椅子より転落する。左大腿部の痛みを訴えられるため、看護師、整形外科医師へ連絡し、医療機関へ救急搬送する。検査結果、左大腿部加圧骨折と診断され、患部を固定し施設へ戻る。ご本人、ご家族へ謝罪する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイタルチェック</li> <li>・ 身体チェック</li> <li>・ 看護師報告</li> <li>・ 医師報告</li> <li>・ 病院救急搬送</li> </ul>	実施	実施

#### 5. 苦情処理

##### 苦情内容（2件） 主な苦情内容

月	内 容 ・ 対 応	
5月	内容	新型コロナウイルス感染予防のため、面会を令和2年3月より中止していた。同年6月、入所者・ご家族より、「感染者が減少し落ち着いてきているが、まだ面会は出来ないのか」との訴えあり。
	対応	面会中止にご協力頂いている事に対し感謝を伝え、謝罪する。感染状況も落ち着いてきているため、令和2年6月半ばより面会を再開する旨を伝えご理解頂く。

## 6. 介護報酬

令和2年度は入院者、退所者が前年と比較し少なく、一定水準の利用率を保つ事が出来たため、介護報酬は前年度より増収となっている。目標数値には達していないが、前年比+5ポイントであった。

令和2年度介護報酬合計 126,455,126円

令和元年度介護報酬合計 116,211,350円

## 7. 行事について

例年であれば外出会を開催していたが、新型コロナウイルス感染予防のため、外出会は中止とした。屋内のみの行事であり、不満を訴えられる利用者もおられたが、様々な要望を聞き取りご理解頂いた。

## 8. 令和2年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策として、従業員に関しては日々の体調管理とマスク着用の徹底、外出・外食の自粛、体調不良時は出勤の停止などの対応を取った。広島県・市からの「介護保険施設職員を対象とした抗原検査」、「PCR検査」を利用し、毎月1～2回検査を実施。その他、必要な物品等を補充、購入し感染予防に努めた。また、外部からの感染予防のため、感染拡大時期には利用者家族等の面会や業者の出入りを中止した。全ての関係者のご理解、ご協力を得た上で対策を行い、利用者、職員ともに感染者は出ていない。

感染症予防の観点から外部研修が軒並み中止となり、オンライン研修に切り替えて参加する形式を取った。オンライン研修は他事業所との交流は少ないが、事業所内で行えるため参加しやすくなった。